

# 筑心

chikushin

筑心会

vol.21

2011 JULY

平成23年7月1日発行



発行 福岡県立筑紫高等学校  
同窓会 筑心会

在校生のために  
私たちが出来ること。

[www.chikushin.net](http://www.chikushin.net)

**第36回筑心会 懇親会**  
2011年8月6日（土） 16:00～  
西鉄グランドホテル

# ご挨拶



「人の和」  
名誉会長(学校長)  
大和 豊

東日本大震災では、多くの皆さまが犠牲になられました。深く哀悼の意を表したいと思います。また、被災された皆さまには、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早く復興し、心安らぐ日々が来ることをお祈り申し上げます。

筑心会会員の皆様におかれましては益々ご健勝のことと拝察いたします。

平素より本校の教育活動に対し、物心両面のご支援を賜り心より感謝申し上げます。本年度もよろしくお願いいたします。

孟子曰、「天時不如地利。地利不如人和。」  
書き下し文にすると

孟子曰はく、「天の時は地の利に如かず。地の利は人の和に如かず。」

この言葉は本校の前父母教師会会長の金堂孝義氏が役員会や懇親会の挨拶で何度か引用されたものです。

単に戦いの勝敗に限らず、事業の正否、組織の盛衰、国家の存亡などについてその諸要素を説明し、PTAの在り方などに言及されました。

一般化していふなら「天の時」とは時の運、時代の変化であり、「地の利」とは地政学的好条件であり、「人の和」とは成員の一致協力、連帯感のことです。孟子はこの三因子のうち最も重要なのは「人の和」、次が「地の利」、三番目が「天の時」だと説いています。今、日本国が大きな困難に陥っている時、国の舵取りをされている方には、是非学んでいただきたい言葉です。

この教えは教育、特に学校にとっても考えさせられることが多いように思います。時代の変化を読み取り、「先見の明」を発揮して教育方針の転換や学科の改編などを断行して成功する例もありますし、逆にそれが徒(あだ)になり衰退する場合もあります。たまたまある試みが成功し、それに倣ってやってみたがうまくいかないことも多々あります。地の利となるときさらに重要です。県内、県外を見ても立地条件は非常に大きな要因です。地の利を得た学校は、それだけで志願者が飛躍的に増えるという現象は各地で実証済みです。

「天の時」、「地の利」を的確に認識し利用することは必要ですが、最後の決め手になるのはやはり「人の和」です。

筑紫高校はこの「人の和」、教職員、生徒、保護者、地域の住民の方、そして何よりも心強い同窓生である「筑心会」の皆さまが一体となって協力する体制があります。

将来、社会に貢献し、そしてさらに大きく世界に羽ばたく筑紫生を一人でも多く輩出することを目指して、今後とも努力を続けてまいりますので、一層のご支援をよろしくお願いいたします。



「前へ！」  
同窓会会長  
木原 寿

筑心会会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。まずもつて、この度の東日本大震災により被害を受けられた皆様、およびご家族の方々に謹んでお見舞いを申し上げます。

私自身はと申しますと、以前10年間ほど関東で生活していましたが、今現在は地元福岡に戻り住んでいるため、新聞で読むテレビやネット等で映像を見るくらいでしか甚大な被害の実態を目の当たりにする機会はありませんが、被災された方の失ったものの大きさや何から手をつけて良いのかも判らない状況を思うと、普段通り生活している事が申し訳ないような重い気持ちになってしまいます。

しかし、東日本に住む多くの同窓生や知人が、この甚大な被害に対し今も直接的間接的に復興に向け尽力されている中、私のように被害のなかった者が嘆いていたり、立ち止まるわけにはいきません。

また、筑心会が設立されて35年が経過しておりますが、同窓生の大半が職を持ち社会の第一線に於いて活躍中であり、家庭を支えている事と存じます。言い換えますと、私を含め筑心会会員は全員が復興の為に社会の第線での役割を担っていると言えるのではないのでしょうか？

「前へ！」これは、母校の37期生(現3年生)が掲げているスローガンです。私たち同窓生も未来の為に、子供や次の世代の為に、この国の大きな変わり目に生き復興を担う者として、長く険しい道程ですが、粘り強く「一歩前へ進んでいきましょ。」

# 恩師往来

<p>○退職</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>宮田 雅(数学)</li> </ul> <p>○転出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大庭 昭雄(教頭)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>↓福岡中央高校</li> </ul> </li> <li>江頭 尚子(国語)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>↓宇美商業高校</li> </ul> </li> <li>石兼 真理子(数学)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>↓春日高校</li> </ul> </li> <li>樋口 隆基(理科)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>↓福岡中央高校</li> </ul> </li> <li>田崎 能子(英語)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>↓筑前高校</li> </ul> </li> <li>塩崎 健司(保健体育)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>↓柏陵高校</li> </ul> </li> <li>安村 廣(書道)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>↓太宰府高校</li> </ul> </li> <li>山本 真(事務次長)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>↓柏陵高校</li> </ul> </li> <li>神崎 浩(事務主査)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>↓須惠高校</li> </ul> </li> <li>高橋 依子(主任学校司書)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>↓県立図書館</li> </ul> </li> </ul> <p>【講師】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>野島 明日香(国語)</li> <li>大上 香織(国語)</li> <li>山口 英雄(社会)</li> <li>山本 大樹(数学)</li> <li>寺田 直子(国語)</li> <li>古賀 裕介(社会)</li> <li>林 由紀子(理科)</li> <li>河野 正彦(理科)</li> <li>村上 このみ(音楽)</li> </ul>	<p>○転入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大久保 芳隆(教頭)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>↑福岡講倫館高校</li> </ul> </li> <li>福元 充剛(国語)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>↑明善高校</li> </ul> </li> <li>長野 隆(社会)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>↑武蔵台高校</li> </ul> </li> <li>諸藤 和司(社会)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>↑小郡高校</li> </ul> </li> <li>田中 義久(数学)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>↑浮羽実業館高校</li> </ul> </li> <li>中村 健(数学)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>↑耀翔館中等学校</li> </ul> </li> <li>藤木 敬三(理科)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>↑明善高校</li> </ul> </li> <li>蒲池 宏彰(数学)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>↑新規採用</li> </ul> </li> <li>江濱 義博(保健体育)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>↑筑紫丘高校</li> </ul> </li> <li>中村 礼史(英語)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>↑福岡教育事務所</li> </ul> </li> <li>田籠 駒夫(理科)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>↑新規採用</li> </ul> </li> <li>佐伯 典彦(事務次長)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>↑博多青松高校</li> </ul> </li> <li>穴掛 由花(事務主査)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>↑福岡高等視覚特別支援学校</li> </ul> </li> </ul> <p>【講師】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>山本 隆治(社会)</li> <li>清原 鏡(理科)</li> <li>寫 研(音楽)</li> <li>友岡 美津子(国語)</li> <li>尾崎 文秋(数学)</li> <li>柳 みどり(英語)</li> <li>四ヶ所 広美(書道)</li> <li>森田 千尋(学校司書)</li> </ul>
---	--

# 第35回筑心会懇親会報告

同窓会の皆さま、昨年の第35回筑心会懇親会に多数ご参加を賜りまして、誠にありがとうございました。おかげさまで卒業生・ご来賓の方々と合わせて250名近くの方に「米場をいただきました。当番幹事同、心より御礼申し上げます。」

私たち14期生は平成元年3月に卒業しました。聞き慣れない平成という言葉に戸惑いながら、それぞれの道へと歩き出して行きました。それからの日々はあつという間に過ぎ、当番幹事を担当する年が巡ってきました。

当番幹事と言いつつも、最後に同窓会に参加したのは随分昔のことであり「さて、どうしよう？」というところからのスタートでした。

先輩方から懇親会の盛り上がりや聞かす、「どうなるだろう？」という不安を抱えながらも、準備を進めてまいりました。

当日はボンビタル、記念グッズの販売や、朝倉



街道駅から始まる通学路・校舎内を写したDVDの上映など行いました。

在校生時代に戻って同級生や部活の先輩後輩、そして恩師の方々とのお話を楽しんでいただけたのではと思っております。

また第34回懇親会から導入された託児サービスにより、小さなお子さんがいらっしゃる方にも参加しやすい環境を整えられたかと思えます。

改めてご協力をいただきました諸先輩方、そして当番幹事の皆さん、ありがとうございました。

本年も15期の当番幹事の皆さんが準備を着々と進められています。今年も一人でも多くの方に参加していただき懇親会を盛り上げていただければと思っております。

今年も筑心会懇親会にてお会いしましょう。

平成22年度当番幹事同



# 第9回関東支部総会案内

テーマ  
く上を向いて、前を向いてく

筑心会副会長 関東支部長 中森秀樹（3期生）  
第9回総会幹事長 原口大輔（9期生）

まず初めに、今回の東日本大震災において被災されました同窓生並びに「家族の皆様、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興をお祈りしております。また、この厳しい環境の中で被災地支援を行われている同窓生の方々、心より敬服いたします。

さて、今年も隔年で開催しております関東支部総会の開催年に当たります。当初は震災の影響を鑑み中止も検討しましたが、この様な時期だからこそ『く上を向いて、前を向いてく』元氣を出して行きたいと考え、開催する事にいたしました。

今回は、来年3月の「東京スカイツリー開業」に便乗して『浅草』で行います。東京スカイツリーは「武蔵の国」に因んで六三四mの高さを誇り、間近で見ると圧巻です。当日は、スカイツリーに因んだイベントをはじめ、例年同様楽しいゲームも企画しています。

東日本在住の皆さん、母校で学んだあの時を思い出しながら、お世話になった先生方、同級生、クラブの仲間達と楽しく有意義な1日を過ごして見ませんか。来る10月の総会で、皆様にお逢いできることを楽しみにしています。

## 第9回 関東支部総会 開催内容

日時 10月22日(土) 13:00~15:00

会場 浅草ビューホテル  
東京都台東区西浅草3-17-1  
TEL 03-3842-2121  
www.viewhotels.co.jp/asakusa

会費 1期~31期:7,000円  
32期~:3,000円  
※会員ご家族の同伴も大歓迎です。  
(中学生以上の同伴者:3,000円)

小さなお子様連れの方のために今回も「キッズコーナー」を設ける予定です。

来賓 現校長、同窓会会長ほか、皆さんにご縁のある先生方をお呼びする方向で目下調整中です。

出欠連絡の方法や開催場所のアクセスなどの詳細については、同封の「関東支部総会案内」をご覧ください。

### 総会準備会へ参加してみませんか？

会員へのお声かけだけでも立派なスタッフです。月1回の準備会では、卒業期にこだわらずミニ同窓会みたいにワイワイやっています。

# 第36回 筑心会懇親会案内

はじめに、東日本大震災におきまして、被害にあわれた皆様に心よりお見舞い申し上げます。皆様とともに、犠牲になられた方々とご遺族の皆様に対し深くお悔やみを申し上げます。

筑紫高校も昭和48年4月の開校から39年になり、来年の平成24年度には40周年の節目を迎えます。卒業生の人数は、約15,000人程となり、多くの筑紫高校同窓生が各分野で活躍していること存じます。

今年の筑心会懇親会の当番幹事は、15期生を中心に5期生・25期生・35期生が担当します。下川幹事長を始め、15期生が特に一致団結して懇親会を盛り上げていきたいと考えています。そのために、仕事や家事の合間を縫って日々打ち合わせしております。

母校が40周年を迎えるにあたり、そのステップになるよう、意義のある懇親会にしていきたいと考えております。たくさんのご参加を期待しています。皆さんの当時の仲間などにぜひ声をかけ、誘ってみてください。

この懇親会には出席者一人ひとりが主役のイベントとして楽しんで頂けるよう準備しています。出席された皆さんが、多くの同級生、先生、先輩・後輩と高校時代の思い出話に花を咲かせ、絆を深め合って頂ければ幸いです。

ところで、みなさんはどのような高校生活を過ごしましたか？

勉強一筋だった……

部活一筋だった……

もちろん文武両道、どっちも頑張った……

先生にいっぱい注意された。特に○○先生……

先生に言われた一言が今でも心に残ってる……  
授業中、先生の口ぐせが気になって、何回言ったか数えたり……

好きな人・先生がいて、ドキドキしてた……  
みんなで○○に集まってたな……

食堂懐かしいな……

修学旅行いっぱいスキーしたな……

修学旅行でやってしまった……

文化祭・体育祭頑張ったな……

筑紫体操懐かしいな……どんなだったかな……

あつという間の3年間だったな……

懇親会では、今回主催する15期メンバーが渾身の思いで作った筑紫高校の今昔レポートをDVDにまとめ上映する予定です。最近の卒業生は、「昔こんななつとったと？」とか、前の卒業生は、「今、こんなになつとったい。」みたいな……母校をより詳しく知って頂ける機会になるかと思えます。

今回は、8月6日(土)に西鉄グランドホテルにて筑心会懇親会を開催します。土曜日開催なので、次の日の仕事を気にせず心ゆくまで楽しんで頂け、また遠方の方にも多く出席して頂けるのではないかと思います。皆さんのご参加を心よりお待ちしております。

今回も、無料託児サービスをご用意させて頂きますので、お子様連れの方もぜひご参加ください。

最後に、第36回筑心会懇親会にて行うグッズ販売等収益の一部を、被災者の方々に対しての義援金として送らせて頂きたいと考えております。皆さんのお役に立ち、記念に残るものの販売を考えておりますので、こちらも楽しみにしてください。



## 託児サービスあります。

小さいお子さんがいて懇親会に参加できない……そんなお母さんたちに、安心して同窓会を楽しんで頂きたい！という熱い思いを今年も応援します。

### 利用料無料!!

申込は、同封の出欠ハガキか筑心会ホームページより!

### 第36回筑心会

【日 時】	8月6日(土)
【受 付】	16時00分～
【懇親会】	16時30分～
【場 所】	西鉄グランドホテル
【会 費】	当日徴収します。
	1～15期 6,000円
	16～25期 5,000円
	26～32期 4,000円
	33～35期 2,500円
	36期 1,500円

当日はお釣りが出ないようご協力ください。

### ◎ 出席予定の先生方 ◎

家入陽	白垣 政康
池間昌典	白濱 義朗
内田敏章	瀬戸口 朋子
梅崎 禎一	田代りえ子
大久保 芳隆	津田 香織
大部 俊美	鍋島 信江
小川 文一郎	仁田原 秀明
北島 龍雄	福田 修
城戸 英敏	細谷 明子
木村 厚生	松尾 キヨミ
木村 賢二	松本 儀正
日下部 成邦	目野 惣一
古賀 伊彦	大和 豊
佐野 匡志	吉田 和裕
柴田 稔貞	(五十音順)
四村 聡子	

お問合せは  
筑心会へ

○電話：092-924-1511  
○E-Mail：info@chikushin.net  
○URL：http://www.chikushin.net

# 第6回OB座談会実施報告と感想

If & Reality

開催日 2010年11月6日(土) 快晴 ☀

9:10~  
開会式  
(体育館にて講師の紹介)

9:50~10:40 1回目講演

10:50~11:40 2回目講演

12:30~  
意見交換会を兼ねた  
食事会



平成22年11月6日(土)、第6回OB座談会「IF & REALITY」が開催され、私は委員としてお手伝いさせていたきました。

当日8時半に高校に集合した講師陣は少し緊張していたように感じました。9時過ぎには体育館に移動し、主役である現役2年生を前にそれぞれ言わず自己紹介と挨拶をしました。

今回の講師陣も多様な顔ぶれで、航空自衛隊パイロット、大学教授、司法書士、研究者、看護師、薬剤師、獣医師、美容師、銀行員、技術者、会社経営をされている方、会社員等12ジャンル21名の講師陣で臨みました。

挨拶が終り、講師控室に戻るとすぐそれぞれの講座の現役生が迎えに来て、講師陣は各教室へ向いました。講師の皆さんは緊張するどころか、むしろ生き生きと現役生に講義をしており、その姿がとても印象的でした。そしてとても楽しそうでした。

また、現役生が真剣にその話を聞いている姿を見て、とても感動しました。



40歳になる私ですが、22年前、現役だった頃の記憶が甦り、一瞬、タイムスリップしたような不思議な感覚を覚えたと同時に、目の前の現役37期生に講義しているOB講師を客観的に眺めていると、「**今まさに母校・筑紫高校の歴史・伝統が築かれているんだ**」と感じました。

50分×2回の座談会は、あっ！という間に過ぎ、講師の皆さんは「時間が足りなかった!」、「もっと伝えたい事があつた」と、講義を振り返っていました。このOB座談会は、OBがもっと筑紫高校現役生のチカラになろう!と先輩方が始めた聞いています。

私も皆さんも筑紫高校OBです。この座談会をOB一同で盛り上げていき、そして筑紫高校の歴史・伝統を築き上げていきたいと思います。皆さんの思いが現役生の道標となります。

我こそはと思わん方、第7回OB座談会へのエントリーを熱烈に待つています!!(詳細は次ページ)

(14期 高橋)

## 「OB座談会」感想文 対象学年は現3年生(37期生)、いずれも一部抜粋



IT分野についての講義を聞かせていただきました。とてもためになるお話ばかりでした。ITは思っていたより、ものすごく範囲が広いことだと分かりました。僕は今、情報処理系の大学に行って、その方面の職業に就きたいと思っています。取得しておくとい資格をいろいろと教えてもらったので、詳細を調べてみようと思います。IT関係の仕事において必要なものは、知識よりも人とのネットワークであるとおっしゃっていました。僕はコミュニケーション能力があまり高くないので、人との関わりをもっと増やそうと思いました。(K・Mさん)



電力会社から転職して自分のやりたい仕事をするというのは、すごいなあと思いました。資格がいろいろある中で、どんな資格が役に立つかなどを教えてくださいました。ITがどんなところにあり、どんな活躍をしているのかを聞いて、自分が思っていたよりも実に様々な分野で使われていることに驚きました。人と人のつながりが重要だということを知り、確かにそうかもしれないと思いました。最近では孤独死や幼児虐待など、悲惨な事件が頻発しているので、より深く考えることができました。(T・Aさん)



今回のお話を聞くまで司法書士という仕事がどのような仕事なのか、知らないことばかりでした。困っている人の相談にのったり、解決するための書類を作成したり、弁護士同様に法廷に立ち弁護をすることができるなどのことが分かり、やりがいのある魅力的な仕事だと思い、とても関心が沸きました。私は将来弁護士になりたいと思っていますが、法律に携わる仕事に他にもあるのだということが分かりました。弁護士への道も司法書士への道も、先輩の話を聞いていくと大変だと感じましたが、もっと勉強して頑張りたいと思います。(Y・Nさん)



私たちの将来において、とても大切なことをたくさん聞くことができました。司法書士という聞き慣れない職業でしたが、社会においてとても重要なお仕事であることが分かり驚きました。まだ職業についての知識があまりない私たちにとって、このOB座談会がもたらしてくれたものは、とても大きく有意義なものとなりました。行く先がまだ分からない私にとっては、一つの目印を与えてくださったように思います。その目印を参考にしていけば、自分の進路が見えてくるに違いないと思います。先輩方には感謝の気持ちでいっぱいです。(K・Tさん)

## 第7回OB座談会 開催のお知らせ

「OB座談会（I F & R E A L I T Y）」が今年も11月5日（土）に開催されます。「もしも高校生の時、ああしていたら今頃自分は？」「あの時、こうしていなかったら今の自分は？」卒業生が母校の後輩に対して様々な体験を語ったり、現役の高校2年生と対談したりするために一日母校に帰る…。9期生が企画・立案した、現役筑紫高校生へ贈るキャリア支援プログラムです。

この筑心会目玉企画も、おかげさまで今年で7年目を迎えることとなりました。毎年少しずつバージョンアップしながら盛り上がりを増しているこのOB座談会は、昨年までに延べ100人以上のOBの方に講師をしていただき、学校や保護者の方々からも大変高い評価をいただいております。

また、実際に講師として参加したOBからは「良い経験になった」、「難しかった」、「社内プレゼンと同じと思っていたが全く違っていた」、「若い人こんなに波長が合わなくなってきた」、「逆にとくさんのことを学ばされた」という声が聞かれました。

午後から行われる参加OBの懇親会も楽しみのひとつです。それぞれに爽やかな達成



感じながら意見交換に花が咲きます。そして、OB講師全員が口をそろえて最後に出す言葉は「楽しかった！またやりたいたい！」…やはりこの言葉に尽きるようです。大いに飲んで、そして語り合いましょー！

「OB座談会実施委員会」は今年もOB講師20名を筑心会サイト上で募集しています。あなたも後輩のために一肌脱いで、悩める高校生たちと重なりつつ楽しいひと時を共有しませんか。OBとして母校に貢献したい方、現役高校生の後輩と話をしてみたい方、プロフェッショナルとしての心構えを伝えたい方、自薦他薦は問いませんので、みなさんの応募を心よりお待ちしております。

なお、講師選定にしましては初めて応募された未経験の方を優先し「OB座談会実施委員会」で検討の上決定させていただきます。（営利目的や特定の思想教育を目的とする方は応募をご遠慮ください）

●実施日  
2011年11月5日（土）9時～13時

●応募方法  
筑心会ホームページより応募ください。  
<http://www.chikushin.net>

●対象職業  
左記の表をご参照ください。

公務員	国家公務員、官僚、役所、警察官、消防士、自衛官等
教育系	大学教授、教員、児童教育、博物館、図書館等
政治・法学系	政治家、弁護士、行政書士、司法書士、判事、検事等
経済・金融	経済一般、銀行、証券、生保、損保等
福祉系	児童福祉、高齢者福祉、介護等
国際	業種は問わず、世界のフィールドで活躍されている方
マスコミ・広告	放送、新聞、出版、広告代理店、製作、コピーライター等
文化・芸術・スポーツ	クリエイティブ、文化的、スポーツ関連事業に従事の方
運輸	航空、鉄道、船舶、運送、倉庫等
理工	研究所、天文、地球、宇宙、気象等
IT	SE、WEB関連、ソフトウェア、ネットワーク、ゲーム関連等
電機・電子・エネルギー	電機、電子メーカー、ハード関連、電力、ガス、石油等
建築	建築家、ゼネコン、ハウスメーカー、不動産、土木系等
農学・生物・環境	農業、バイオ、生物工学、動物園、植物園、草花系等
医療・保健	医者、看護師、理学療法士、薬剤師、臨床検査技師等

## 来年、筑紫高校は創立 四十周年を迎えます

来る平成二十四年、母校の筑紫高校はついに学校創立四十周年を迎えます。創立記念式典及び記念行事は来年十月二十七日土曜日に挙行される予定です。

今回は同窓会会長が実行委員長となつて、実行委員会が組織されていて、現在は校内実行委員会を中心に基盤づくり中입니다。

筑心会としては、記念行事の「同窓生と現役生徒とのトークセッション（タイトル未定）」を企画することになりました。今後情報を収集し、登壇する卒業生に出演依頼をする予定です。

また、記念誌作成も始まっております。この十年で活躍された先生方や卒業生の筑紫高校での思い出が掲載されます。

新設校といわれていた我が筑紫高校が、早くも四十周年を迎えるのかと思うと、感慨もひとしおです。素晴らしい記念式典、記念行事になるよう、我々も協力していきましょう。



## 「ハチドリの一滴」 東日本大震災 物資搬送報告

三月十一日の東日本大震災、出来る事は体何なのか？阪神大震災でボランティアの経験もあり、物資を直接運ぶと決め十五日にメールで物資の提供を呼びかけた。すぐに私の事務所に大量の物資が集まる。仕分け、積み込み、車両の提供も卒業生から援助を受け警察署で緊急車両の許可証を取り二十一日の深夜、東北に向け出発。食品、粉ミルク、紙おむつ、生理用品、肌着、衣類等の物資を宮城県名取市、多賀城市、石巻市、亘理町の8箇所の避難所に届けた。

家と一緒に流され命だけは助かったという男性、津波の高さ20mはあったと言うご老人。被害の甚大さは予想を遥かに超えるものだった。復興はまだ始まったばかり。物心両面で出来る所から援助をする事で日本がひとつになるチャンスだと信じている。

ハチドリは山火事の時、水を滴つづ運んで火の上にとりついて火を消そうとするという。「そんな事をして何になるんだ」という声に答えた。「私はただ出来る事をしていただけ」と。

■筑心会で支援・援助を頂いた方。（敬称略）  
（二期）井上恵・上原理佳子・後藤和代、（三期）中森秀樹・廣津嘉久、（四期）木原寿（六期）林剛（九期）神本竜夫・神本恭子・坂牧みお・原口大輔、（十期）高井美奈子、（十四期）権藤知弘。

皆様、ありがとう。

一期生 園田 茂雄（関東支部）

# 当番幹事紹介

筑心会の会員の皆さま、こんにちは。平成23年度幹事長を務めさせていただくことになりました15期生の下川幸司と申します。

まず、今回の大震災により、被害を受けられました皆様にも、心よりお見舞い申し上げます。また一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。未曾有の大震災がおき、普通の生活の有難みや、地域や故郷への思い、そして多くの絆の大切さを日々考えさせられます。一方、今までの意識や生活を早く変化させなければならぬとも強く感じます。

そんな中、私達15期生は当番幹事の活動をスタートさせました。昔なじみの仲間、初めてしゃべる同級生や先輩方など、多くの人と関わりを持ちながら話を進めております。幹事業務ひとつをとっても、私達は多くの人とつながりながら歩んできたことを実感します。

幹事会は、主に春日原にある同級生のお店で打ち合わせを行っています。時にはアルコールも入れながら、ワイワイガヤガヤやっています。昔話や芸能ニュースばりの



噂話など、打ち合わせそっこのので盛り上がることも多々あります。その場で遠方の同級生に電話をかけたりと、結構楽しくやっています。同級生が勤めている某テレビ局で打ち合わせをした時は、すぐそばを有名人が通つたりと少し興奮もしました。一方で、打ち合わせの時に垣間見える今の同級生の状況を見ると、身近だった同級生もそれぞれの立場で立派に頑張っていることも感じます。

折角二十数年ぶりにみんなと逢えたので、同級生だけに関わらず、多くの人達のこれまでの知識や経験を結集して、懇親会やOB座談会など、いいものにしていきたいと思えます。

今年の筑心会懇親会は8月6日土曜日に開催されます。お世話になった先生方や先輩方、後輩の皆さん、そして15期生の皆さんに、楽しんでいただけるように、幹事一同でいろいろと企画中です。一昨年から続けている託児サービスも実施します。クラスや部活の仲間など、卒業後もつながっている方をお誘いの上、是非ご参加下さい。昔からの絆や、今からの新たな絆を感じていただければ幸いです。

当番幹事一同

## 第36回筑心会懇親会 当番幹事

### ■幹事長

下川 幸司(15期)

### ■幹事

石本 真(15期)

今村 亜紀子(15期)

上田 幸史(15期)

上田 裕子(15期)

桐明 久美子(15期)

小牧 隆(15期)

杉谷 知範(15期)

関 美由紀(15期)

手島 浩志(15期)

西 裕貴(15期)

橋口 久美子(15期)

林田 敬(15期)

福原 伸治(15期)

帆 祐司(15期)

三村 かおり(15期)

宮下 吉孝(15期)

屋本 典子(15期)

渡辺 洋子(15期)

## ラグビーワールドユース交流大会 第8位

国内外から選ばれた16校が競い合う「サックスワールドラグビーユース交流大会」に、本校ラグビー部が協会推薦を得て8年ぶりの出場を果たした。

毎年ゴールデンウィーク期間中に福岡・グローバルアリーナで開催されるこの大会、今年は震災の影響で例年より海外からの参加が減少したが、ラグビー強豪国であるイングランド・ニュージーランド・南アフリカと韓国から参加。国内からは昨年度の花園4強など名だたる強豪が出場した。

予選リーグでは、初戦17-29で常翔学園(大阪)に惜しくも逆転負けを喫したものの、キョンサン(韓国)に57-0で圧勝、関西学院(兵庫)にも17-15で競り勝ち、予選プール2位で見事1-8位決

定トーナメントに進出した。

トーナメント1回戦ではイングランドのアイヴィーブリッジコミュニティーカレッジと対戦し、2トライを奪う善戦であったが14-27で敗退。5-8位決定Tで奇しくも東福岡との対決となったが、25-45と今回も積年の雪辱は果たせなかった。最終戦でも残念ながら佐賀工業に14-38で破れたが、堂々の第8位。大会はニュージーランドのハムルトンボーイズハイスクールの2連覇を果たし幕を閉じた。

国際大会の舞台でハイレベルなラグビーに接し、海外の高校生たちと交流する貴重な体験をした彼らが得たものは大きかったに違いない。更なる成長を経て、秋にはぜひ最高の歓喜を共に味わわせてほしい。



## 後輩達の今！

## 女子バスケットボール部



女子バスケットボール部は、現在新チームになったばかり。二年生9名、一年生15名、マネージャー2人で元気に活動している。キャプテンの甲斐あさみさん、副キャプテンの西島さやかさん2人に代表されるように、女子バスケットボール部はほとんどの部員が「シヨートカット」のスポーツ少女である。「今年は例年になく身長も高く、戦力的にも安定しています。しっかり練習して、いいチームを作りまします。」と力強く話してくれたのは、顧問就任6年目の藤原先生。チームの目標は？と質問すると、「目標は2部になることです。私立と比べて練習時間が少ないので、体力作りがなかなかできないけど、その分練習の中できっかり走ることを意識しています。」と



語ってくれた。チームのモットーは「頑固を張るんじゃないくて、このチームのいいところでもある笑顔を晴らすこと、つまり『顔(が)ん晴(ば)る』ことがモットーです。」とのこと。インタビュアー中も部員が集まってきて、わいわい賑やかに思いを語ってくれたのが印象的だった。個性あふれる二年生と元気な一年生は、学年関係なくとても仲が良く、「でもやるときはやるってところがうちのチームのいいところです」とキャプテンが笑顔で語ってくれた。その後練習が始まった。フットワークトレーニングをたっぷり行い、四角パス、パスシュート練習、5対5など……土曜日の午後をバスケットボールに捧げる彼女たちに、熱いエールを!!

毎日笑顔で「顔晴ってます！」

## 茶道部



放課後の茶道室は賑やかだ。というのも、現在三年生4人、二年生9人、一年生3人、計16人という大所帯で活動中なのである。元気で賑やかな二年生を一年生がちよつと離れたところから眺め、大人な三年生が温かく見守っている……というのが、茶道部の日常のようだ。その三年生4人に話を聞いた。部長の山口さんに茶道部の活動目標を聞いたところ、「茶道だけでなく、社会人として最低限のマナーや礼儀作法まで、当たり前に行えるようになる」ということです。」と答えてくれた。また、副部長の八尋さんは「茶道部に入ってから、それまで気にしたことなかったような挨拶や言葉遣いにも気を配るようになりました。」と落ち着いた口調で語ってくれた。

常に「おもてなし」の心で



茶技は週に一日、外部の先生に教えていただいているそうで、現在は6月10日、11日に行われる「筑紫祭」に向けて準備の真っ最中だった。筑紫祭でのテーマは「晴好雨奇(晴れでも雨でもそれぞれに趣がある)」晴れと雨のそれぞれの良いさを味わっていたために、お茶会を中庭(晴)と室内(雨)の二カ所で行うそうだ。「特に、梅雨のじめじめした時期なので、二カ所とも道具にこだわりました。『川』をイメージできるようなものを使っているので、お客様に『涼しさ』をお届けできると思います。」  
堅苦しい印象がある「茶道」だが、彼女たちのお客様に楽しんで、くつろいでいただけるように、「おもてなし」の心で頑張っています。